

心温まる保健婦さんの 対応にお礼を言います

市の保健婦さんに「ありがとうございます」と言いたいです。

私は、先般『しんた21』で行われたミニドック検診を受けました。結果は『要精検』でした。通知を受け取ってからは、何か重い病気ではと心配になり、気持ちが落ち込んでしまいました。

思い切つて、以前からお世話になっている保健婦さんにそのことを話したところ、保健婦さんは、検査のこととかをいろいろ調べてくれて、とても気持ちが楽になりました。病院へ再検査に行くことができました。

仕事とはいえ、私のことを親身になつて考え、対応してくれたこと本当に感謝しています。ありがとうございます。

(一市民)

散歩中の犬のふんは 必ず始末してください

亀田公園にここ2、3年毎日散歩に行っている市民です。

散歩していても気がなつたのは、公園内の道路沿いなどに犬のふんが散乱していることです。

楽しかったこと、悲しかったこと、市への疑問や意見・要望などを情報推進課へ電話やはがき、封書、ファクス、電子メールでお寄せください。なお、個人や団体への中傷、営利を目的としたお話しはご遠慮ください。

情報推進課

☎(85)6586
FAX(85)1108
Eメール:pr@city.noboribetsu.hokkaido.jp

中央町6-11

どうして始末をしないでそのまましておくのでしょうか。きちんと始末をしている人も多いと思いますが、まだまだそのままにしていく人が目立ちます。

散歩中の犬のふんを放置したままにしていく飼い主のマナーの悪さについて、たびたび広報や新聞などの投書で見かけます。

亀田公園は最近、落ち葉などで目立たなくなっていますが、春の雪解けにはふんが顔を出します。目立たないから良いではなく、きちんと始末して下さい。

始末されていないふんを見ると腹が立つてしまうがありません。

(一市民)

花と緑がいっぱいのまちを わたしの ガーデニング



咲き終わったポットの土を再利用しています

にしざき
西崎のり子さん
桜木町5丁目7-3

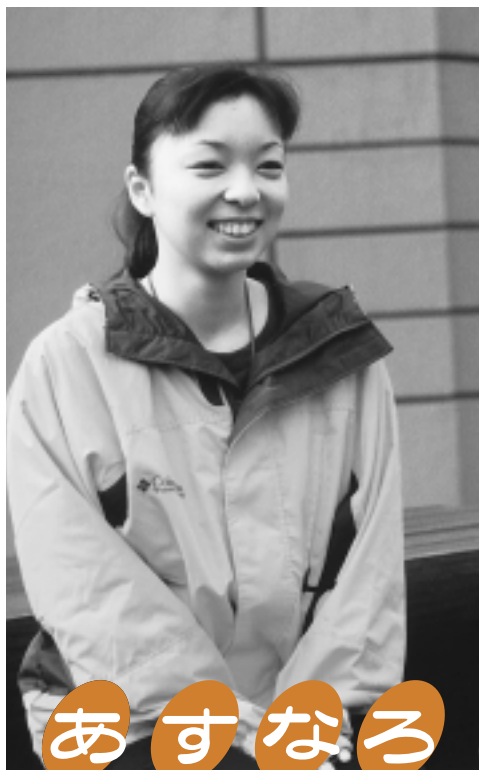
今年のガーデニングは、そろそろ終わりを迎えるころです。

みなさんは、花の咲き終わったポットやプランターの土をどのようにされていますか。

「ポットやプランターの土は、みなさん、水持ちと水はけが良く配合された市販の園芸用土を利用されているようです。これを捨ててしまうのは、不経済ですよ」と話す西崎さんのお宅では、園芸用土の再利用をしています。

「ポットなどで用いた土を再利用するには、消毒が必要です。私は根や軽石をふるいで除き、土を庭に広げ、冬の寒さにさらして消毒しています。春には腐葉土や堆肥を混ぜて再利用しています」。

西崎さん宅では、施肥や土の再利用の準備など、来春に向けたガーデニングがもう始まっています。



あすなろ

もとぎりえ
本木理恵さん(21歳)

登別マリンパークニクス勤務

イルカとのコミュニケーション
を大切に仕事をしています



「動物と一緒に仕事をするのが小さいころからの夢でした」と話す本木さんは、専門学校で2年間動物について勉強し、今年の4月から登別マリンパークニクスのイルカの飼育係に。晴れて夢がかないました。

「入社して半年が過ぎましたが、イルカとの接し方が難しく、イルカもしっかり私たちを観察しています。接し方によっては、毎日のトレーニングや健康状態のポディーチェックを嫌がり、イルカに突き飛ばされたこともあります。注意深くイルカを観察しながら、えさをあげるだけでなく、できるだけ一緒にいて可愛がってあげ、イルカと心が通じ合えるようになれば」とイルカの飼育に一生懸命な毎日です。

